



国際会長ニュース

命の川を信じよう

第7号 2021年1月



国際会長 ジェイコブ・クリステンセン

このニュースは、1年を通して、毎月の寄稿記事や最新状況の報告によって、YMI会員の皆さまに情報をお伝えするためのものです。このニュースをお受け取りになった際には、できるだけ多くの会員の皆さまに転送いただければ幸いです。メンバーは、何も受け取らないよりも、重複して2部を受け取る方が良いでしょう。

会員の皆さまへ

国際会長ニュース1月号へようこそ。様々な寄稿記事や最新情報を皆さまにお届けいたします。

今号は、エンダウメントファンド(EF)、Week4Waste、国際本部からのニュースなどを掲載しています。また、「情報ナゲット」の紹介も行っています。

新しい年を迎えましたが、2021年が昨年よりも良い年になることを願っています。新型コロナウイルスのパンデミックが消滅し、私たちが多くの制限や恐怖を感じることなく、再び普通の生活を送ることができるように祈り、希望を持ちましょう。

皆さまとご家族の皆さまに新年のご挨拶を申しあげ、2021年のクラブの活動のご成功を祈念いたします。どうぞ、聖書のヨハネの黙示録第22章から引用した私のスローガンである「命の川を信じよう」に共鳴してください。

パンデミックの状況が改善され、多くの教会で1月17日(日)と3月7日(日)の「ワイズメンズクラブ国際協会の教会の日」(訳注:主としてヨーロッパのクラブでの恒例のイベント)を迎えることができるようになることを願っています。

2021年とエキサイティングな未来を楽しみにしています。どうぞお気をつけて、安全にお過ごしください。



ジェイコブ・クリステンセン
2020-21 国際会長

国際協会情報ナゲット

如何にして始まったか

私たちの運動に関する情報は、私たちのウェブサイトや他の場所にたくさんあります。しかし、新しいメンバーやメンバー候補者が、歴史や起源、特定のプロジェクトやプログラムについて具体的な疑問を持って、その答えが簡単には見つからないことがよくあります。

これは、私たちの運動のすべてのレベルで見られることであり、バンガロール II 部(インド地域)も例外ではありません。250人近くの会員が常に適切な情報にアクセスする必要があるため、部長は、出版物とウェブセミナーの両方で構成される「会員増強」プログラムを立ち上げるというアイデアを思いつきました。

記事や本では、読者の注意を引くことはほとんどなく、ましてや読者を楽しませることはできないことがわかりました。同様に、リーダーシップ研修プログラムでの座学形式の講義では、読者の関心を引くことができないことがあります。正確な情報が求められていることに気づき、それらを「少量ずつ」広めるという考えにいたりました。そして、運動に関する重要な情報を一度に200語以内で、一定の間隔を置いて提供するというアイデアが生まれました。「情報ナゲット」と呼ばれるこれらの情報は、まさに貴重な情報の塊です。現在までに20個の「情報ナゲット」がありますが、今後も追加していく予定で、国際協会のウェブサイトでもご覧いただけます。YMIの情報を広めるため、どうぞご自由に使ってください。

YMI ワールド編集長
コシー・マシュー



IHQ ニュース 2021 年 1 月

年度の前半が終了し、年央会議に向けた報告書を纏める時期となってきました。国際議員、地域会長、国際事業主任、委員会委員長は、12 月 13 日に国際本部から配布されたフォームを使用して、2021 年 1 月 18 日までに報告書を提出することが求められています。

また、区、部、クラブの皆さまには、最も感動的な奉仕の体験を、関連する写真とともに国際本部に提供していただくことをお願いしています。これによって、ワイズメンズクラブ国際協会の影響力をまとめたストーリーを作成して、世界中の既存のクラブ会員とクラブ会員候補者にインスピレーションを与えようとしています。投稿は、[こちら](#)からお願いいたします。

2020/21 年度の国際選挙が開始され、2021 年 1 月 29 日に終了します。今年は、総計 1,545 クラブの内、投票権を持つクラブは 900 近くです。40%以上のクラブが投票権の条件を満たしていないため、今回の国際選挙では投票できません。選挙の詳細は、[こちら](#)をご覧ください。

先月、2020-22 年度国際ユース代表 (IYR) の選挙が終了しました。新 IYR には、サバンナ・ラ・マー・ワイズメンズクラブに所属するジャマイカ出身のドワイト・トムリンソンが選出されました。ドワイトさん、おめでとうございます。

ホンジュラスがワイズメンズクラブ国際協会の 71 番目の国として追加されたことを誇りに思います。国境を超えたエクステンション活動として米国のノースジャージー・Y サービスクラブが、テグシガルパの新クラブのスポンサークラブとなりました。

100 日間会員増強キャンペーンは 12 月 9 日に終了しました。多くのクラブがこのキャンペーンに参加し、このような厳しいパンデミックの時にもかかわらず、努力を重ね、新クラブ会員の勧誘に成功しました。南インド区の西部では 104 名が 1 日だけのイベントで入会しました。キャンペーンに参加して下さったすべてのクラブと区に感謝します。

いくつかのクラブと部は、2020 年 12 月 8 日の創立者の日にポール・ウィリアム・アレキサンダーを称え、組織の遺産と使命へのコミットメントを再確認することで、創立者の日を祝いました。

ワイズメンズクラブ国際協会は、ロールバックマリアの活動の一環として、財政的なパートナーであるグローバルファンドに 10 万米ドルを寄付し、マリアとの世界的な戦いを強化することに貢献しました。2030 年にマリアのない世界を実現するという世界的なビジョンに向けて、皆さまからのご寄付に深く感謝いたします。

1 月は、ワイズメンズクラブ国際協会の財政的安定性を確保し、現在および将来の目的や目標を達成するための重要な資源であるエンダウメントファンド (EF) の強調月間です。50 スイスフラン以上の寄付は、国際的に顕彰されます。詳細は、3 ページをご覧ください。

寄付は、各区を通じて、または直接 <https://www.ysmen.org/donate/ef-contributions/> から行うことができます。

国際書記長とそのスタッフチームは、皆さまに、祝福され、健康な新年をお祈りいたします。



Y'S MEN INTERNATIONAL INFORMATION NUGGET 16

Endowment Fund

Purpose: To provide financial aid and stability for YMI's present and future purposes, objectives, programme and expansion.

Goals:

- To extend and develop clubs affiliated with Y's Men International around the world.
- To provide funds to solve special problems or carry on special projects which strengthen, extend and develop YMI in Areas or Regions.

Limitations: Only the income is used. The principal remains untouched (in order to provide stability). Funds can be disbursed for stated purposes of the fund and approved by the International Council and the Endowment Trustees.

Structure: Five Trustees, serving five-year rotating terms and representing at least three Areas of YMI, invest and manage the funds to maximise income and promote the Endowment Fund. One Trustee is appointed each year by the International President.

How to contribute: Club members can contribute by enrolling themselves as Honour Roll Members by donating CHF 1,000 or as Paul William Alexander Fellow by donating CHF 120.

Released by Bangalore District II as part of its member enrichment programme

EF の「情報ナゲット」(記載内容は P3 の記事とほぼ同じ)



「強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う」



WEEK4WASTE - 1 月強調月間テーマ



世界中のワイズメンへ

クリスマスのおきが過ぎ、新しい年が始まりました。自然そして心をリフレッシュする時期です。私たちの心の中では、クリスマスに集中し、ワイズでの義務を忘れてしまっていたかもしれません。そこで、今こそ心をきれいにし、「Week4Waste」(ゴミのための週)と呼ばれるプロジェクトがあることを思い出しましょう。

10 月には、ワイズの事業で活動している時に着用するベストを注文できるようにいたしました。多くの区が 11 月中に注文しました



あなたのクラブのベストについては、区理事に照会してください。2021 年 4 月 18 日から 24 日までの Week4Waste の期間中には、ワイズメンの姿を地域社会に見せられるようにベストを着用しましょう。

世界中のワイズメンがこの日に親睦を深めていただけることを願っています。ここ数ヶ月の間、多くのクラブではすでに道路や公園、川沿いのゴミ拾いを行っています。2021 年 4 月には、ゴミ拾いと籠を持って歩きながらゴミを探す姿が世界中で見られ、ワイズ運動を広める絶好の機会となります。



しかし、プロジェクトはこれだけに留まりません。将来的には、母なる地球のためにゴミを拾うことの意味を考えつつ、少人数のグループでゴミ拾いをしながら散歩をしていただきたいと思っています。

より良い明日を一緒に築き、この世界をより住みやすい場所にしていきましょう

ウルリク・ラウリドセン
Week4Waste 委員会委員長

EF - 1 月強調月間テーマ

エンダウメントファンド(EF)の目的は、ワイズメンズクラブ国際協会の現在および将来の目的、プログラム、拡大のための資金援助と組織の財政的安定性を提供することです。

世界中のワイズメンズクラブ国際協会に加盟しているクラブを拡大・発展させることを目指しています。特別な問題を解決したり、地域や区でワイズ運動を強化、拡大、発展させる特別なプロジェクトを遂行したりするための資金を提供します。

使用されるのは運用益収入のみ。元本には、安定性を確保するため手を付けません。資金は、国際議会と基金管理委員会によって承認された、上記の目的のために使用することができます。

国際協会の少なくとも 3 つの地域を代表した任期 5 年の 5 人の委員からなる管理委員会があり、基金の投資と管理を行い、収益を最大化し、基金の発展を促進しています。毎年 1 名の管理委員が国際会長によって任命されます。

あなたやあなたのクラブが基金に寄付すると、ジュネーブの国際本部で保管されている「ゴールデンプック」に、ワイズメン・メネット、YMCA 役員、親戚や友人等の名を「黄金の功績」として後世に残すことができます。寄付には様々なカテゴリーがあります。

1. 寄付と賛辞: クラブ、個人、グループは、最低 120 スイスフランの寄付を行うと、誰かに対しての賛辞を「ゴールデンプック」に掲載することができます。
2. ポール・ウィリアム・アレキサンダー・フェロー: 個人が最低 120 スイスフランを寄付することによって、その名が「ゴールデンプック」の「ポール・ウィリアム・アレキサンダー・フェロー」のページに掲載されます。
3. ダブル・ポール・ウィリアム・アレキサンダー・フェロー: 120 スイスフラン以上の 2 回目の寄付を行うと「ゴールデンプック」の「ダブル・ポール・ウィリアム・アレキサンダー・フェロー」のページに掲載されます。
4. オナー・ロール・メンバー: 基金に最低 1,000 スイスフランを寄付した個人は、ゴールデンプックの「オナー・ロール・メンバー」のページに掲載されます。
5. オナーロール・クラブ: クラブが 1,000 スイスフラン以上を寄付した場合、ゴールデンプックの「オナーロール・クラブ」のページに掲載されます。
6. エンダウメント・フレンド
個人が、50 スイスフラン以上の寄付を行った場合、ゴールデンプックの「エンダウメント・フレンド」のページに掲載されます。

詳細は[こちら](#)をご覧ください。

クラブ農園、活動中

Tell a good story.



上の写真をご覧になったことがある方もいらっしゃると思います。ワイズメンズクラブ国際協会ウェブサイトのスクリーンショットです。東日本区の東京多摩みなみワイズメンズクラブのクラブ野菜農園活動(ぼんぼこ農園)の様子です。

私たちのクラブは、2016年にチャーターされましたが、CS活動のひとつとして、新しいメンバーを惹きつける手段として、そしてまた、クラブメンバーが共に働くことによってクラブの結束を固めるため、クラブの農園を2017年8月に開始しました。



ジャガイモの植え付け

幸運にも、近くの神学校が土地を貸してくれたこと、クラブメンバーの中に園芸の大学教授がいることによってこの活動を始め、そして継続することができています。今や、クラブを代表する活動となっています。

これまで、じゃがいも、キャベツ、タマネギ、里芋、大根などの様々な野菜を育てて、収穫物は、YMCA や区の行事あるいは地元のコミュニティーのイベントにおいて販売し、その収益をYMCAの支援などに用いてきました。



YMCA 秋まつり(2017)にて

日本でも新型コロナウイルスの蔓延が未だ治まっていますが、農園の活動は、中断することなく続けています。しかし、収穫物を販売するイベントはことごとく中止となってしまいました。現在、収穫物は、クラブのメンバーが購入し、クラブファンドの収入源としている他、地元のフードバンクに寄贈して、困っている人たちの支援に用いられていて、喜ばれています。また、最近、新しい試みとして、Zoomを用いて、手軽にできるプランターでの野菜栽培教室を開催しました。この試行には他のクラブのメンバーも参加してくれました。新型コロナウイルスが終息したのちは、近隣の人々を対象に対面でも開催し、クラブの特技を生かして、知名度の向上、新メンバーの獲得にも役立てていきたいと思っています。

東京多摩みなみクラブ会長 深尾香子

これまでの号では、毎回2つの投稿記事が「Tell a good story」に掲載されてきたことにお気づきと思います。今月は、上の1つだけです。なぜでしょうか？

答えは簡単です。再三お願いしているにもかかわらず、私に記事が送られてこないからです。たくさんの素晴らしい話があることを知っていますし、私もそれを読みたいと思っています。

英語で書くことができないのですか？自分の英語力が足りないかと心配していませんか？話を伝えることができないと思っていますか？

これらの問題によって、あなたが投稿することを止めるべきではありません。編集者としての私の仕事は、あなたの言葉を受け取り、それらを磨くことです。言語は問題ではありません、Google 翻訳で、私はほとんどの言語の文章を読むことができます。

私が必要とするものは、200から300単語の文章と説明するための何枚かの写真です。

どうぞ国際会長ニュース編集者の私、ウォリーに記事を送ってください。電子メール: ipeditor@ysmen.co.uk